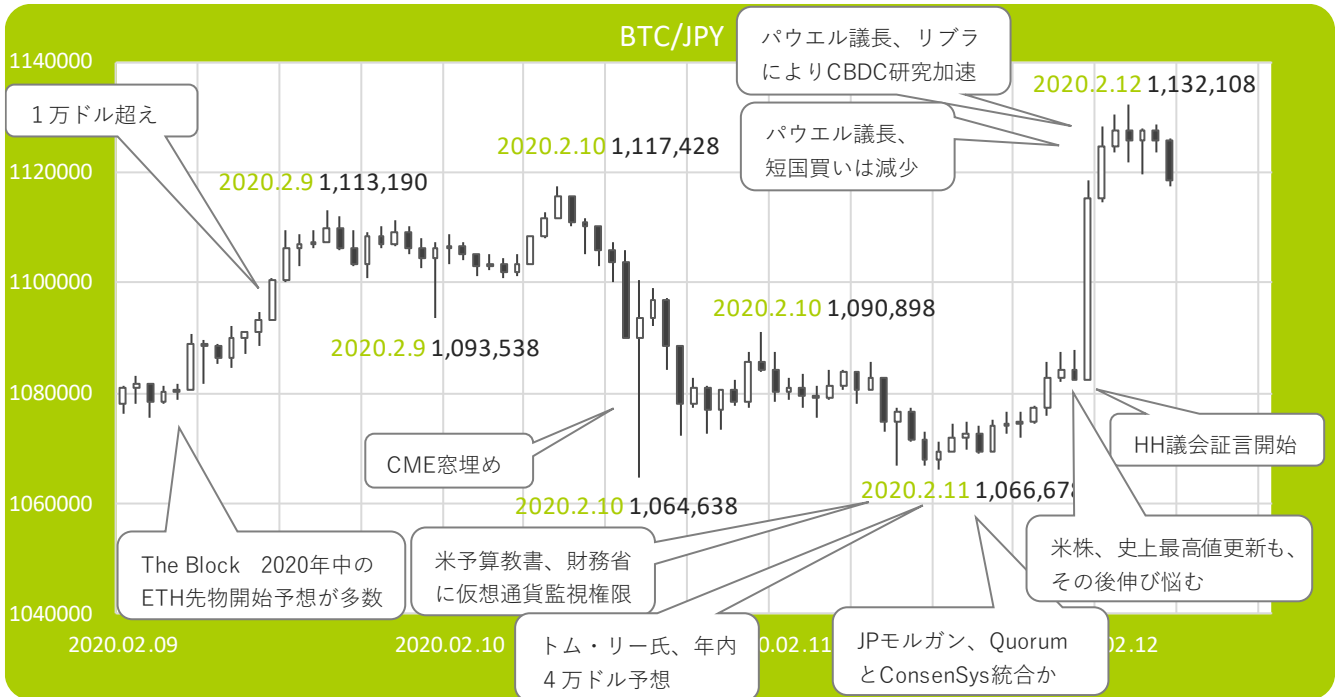


【1万ドル割れから回復のビットコイン、その理由と今後の展開】



通貨	BTC	ETH	XRP	BCH	LTC
価格	1,125,683	25,786	30.6	50,397	8,343
月曜日対比	+2.1%	+4.0%	▼0.5%	+3.5%	▼0.5%

Review

1万ドル回復

昨日一昨日のBTC相場は下に行きついでに展開。漸くクリアした1万ドルをあっさり割り込むも、9700ドルで下げ渋ると、今度は急反発、一昨日の高値を更新し、相場の底堅さを印象付ける形となった。金曜日にCMEのBTC先物が一足先に1万ドルに達するなど、先物主導で1万ドル台乗せに成功したBTC相場だったが、期待されたほどフォロースルーが続かないとみると短期勢の利食いが殺到したせいか値を崩し始め、1万ドルを割り込むと下げが加速、CMEのBTC先物の窓埋め9850ドルもオーバーシュートし9700ドル(106万円)台まで値を下げた。その後、著名アナリスト、トム・リー氏の年内4万ドルなどもあり下げ止まると、ここ2日牙えなかつた米株が史上最高値を更新、BTCも戻り高値の109万円を抜けるとショートカバーを誘発し113万円まで急騰、しかしFRB議長が議会証言で短国買入縮小に振れたこともあり米株が伸び悩むとBTCも上値を重くした。

Outlook

旧ハンフリーホーキンス証言

本日のBTC相場は底堅い展開を予想。今回の相場の下押しは1万ドルを抜けて相場が走ることを期待した投機筋が利食いに走った形で1万ドルを割れるも、投げたところでショートカバーが発生する皮肉な展開となった。引き続き、1万ドルを抜け、半減期を織り込みに行く相場が始まるという予想はそのまま。但し、今回相場が戻ったのは買い遅れた向きの買いがあったからで、そうしたフローは今後細っていく。また年2回の議会証言でFRB議長が短国買入減少に触れたことも気になる。まだ上値余地はあると考えるが、警戒も必要という見方は不変だ。

著作権表示©2019 FXcoin 株式会社

本レポートは一般的な情報提供を目的に作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。レポート内のいかなる情報又は意見も、仮想通貨の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。本レポートは信頼できるとされる情報に基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではありません。本レポートは予告なしに内容が変更されることがあります。本レポートは著作物であり、著作権法により保護されております。当社の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家へ配布することはできません。